



Q 小5の長男は感情をあまり表に出さず、思ったことが言えない性格です。人生で損するのではと心配です。

「そのままでもいいよ」という姿勢を親は持ち続けて、まずはお母さんと安心して話せる関係を作りましょう。

A

そのまま受け入れて

親が不安に思っても、子供の性格を矯正しようとするのは逆効果です。「そんな性格だと損するよ」などの言葉が子供を傷つけ、「自分はだめなんだ」と自信を失わせてしまいます。

何も言わないで、「そのままでもいい」と子供をまるごと受け止めるのは、簡単ではありません。むしろ「子供のことを心配しているから言うのよ」といって、口にするほうが簡単です。もしかして、これは親が不安だから口にしてしまうのかもしれない。

こういう子は敏感で、警戒心が強いので、大人の心を読み取ります。ですから親御さんは、そのまま子供を受け入れる姿勢を崩さないことです。

希望が言えるように

正しいことを言っても人を変えることはできませんが、安心感に包まれると、心は自然に変わるものです。太陽と北風のようですね。まずは、お母さんと安心して話せる関係を作りましょう。

ついがまんしてしまいうちも、「親には安心して自分を出してもいいんだ」とわかれば、その世

界を友達との関係にも広げていけるようになります。

そのためには、子供がさりげなく「やってみたい」と口にしたことは聞き流さず、受け止めてあげましょう。一番いいのは、子供が食べたいものを作ってあげることに。これだと、すぐに叶えてあげられますね。「食べたい」というなら、昨日の献立を繰り返しても構いません。

何でもすぐに親に要求できる子もいますが、そうでない子もいるのです。ですから、ほかの子供の倍の時間をかけるぐらいの気持ちで、ゆっくり待つてあげましょう。